

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立第三中学校	校 長	有木 浩城	生徒指導主事	児玉 隆弘
-----	-----------	-----	-------	--------	-------

取組事例名	『ピア・サポートによる親和性の高い集団づくり』
--------------	-------------------------

取組における育てたい資質・能力					
------------------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
コミュニケーション能力	1	主体性と協調性(忍耐力)	2	パブリックスピーキング能力	3

取組のねらい					
---------------	--	--	--	--	--

学年縦割り活動による「三中チャレンジカップ」を実施し、ピア・サポート活動(仲間との助け合い)を通して生徒自らが課題を発見し、伝え合い、協力して課題解決を図ることで集団の力を高める。
 ※「三中チャレンジカップ」とは
 年間を通して、縦割りの集団で、行事や点検活動に取り組み、活動を得点化し、年間優勝の団を決める取組。3年生を中心としたリーダーを育成するとともに、自治活動をとおして協力する力を身に付ける。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード リーダーの育成 生徒主体 (学習) テーマの明確化 生徒議論』
-----------------	--

【年間スケジュール】 ※感染症対策のため、未実施のものもある。
 4月 集団行動グランプリ(GP)
 ・各団(縦割り)に分かれ、3年生リーダーを中心に、2年生、1年生とともに集団行動を中心とした表現活動を実施。
 5月 運動会(応援GP)
 ・応援合戦について、各団で表現活動に取り組む。本番だけでなく、全体練習においても各団で打ち合わせをしながら進行できるように取り組んだ。
 6月
 7月 生徒会で「三中チャレンジカップ」の在り方について検討する。三中スタンダード(第三中学校の定める生活様式)から課題を出し合い、「三中チャレンジカップ」としてどのように関連させて取り組むかを協議した。
 10月 学習発表会(合唱GP)
 3分前着席GP(生活委員会提案)
 12月 ロッカー点検GP(美化委員会提案)
 1月 持久走GP
 2月 授業反省GP(学級委員会提案)
 3月 生徒会による年間のまとめ(次年度の活動に反映させる)

(運動会 生徒の語り)



(三中チャレンジカップ得点表)(ロッカー点検 GP 優勝クラス)

R3 三中チャレンジカップ					
	3分前着席GP	運動会	ロッカー点検GP	持久走GP	授業反省GP
赤団	40	40	20	10	30
青団	10	30	30	20	40
黄団	20	30	40	40	10
緑団	30	10	10	30	20



取組の成果と課題

○各学年のリーダーや委員会が中心となって取り組み、積極的に教え合う姿があった。生徒同士が指示を出したり思いを“語る”場面を作ったりすることで、お互いの気遣いや協力しようとする姿が見られた。
 ○生徒自らが日頃の学校生活について振り返り、改善をしていこうとする行動や声掛け等、前向きに取り組む姿勢が見られた。
 ●“できていないこと”を評価しがちになるため、意欲が低下した生徒の姿があった。“できていること”を評価し、肯定的な活動となるようにしていかなければならない。